

# 平成28年度 洛央小学校 学校経営方針

## 学校教育目標 「学びの広がりと深まりのある学校」

子どもたちが生きていくからの時代は、様々なグローバルな課題に対し、持続可能な社会が創造できるような新たな価値観や行動が求められる時代である。今こそ、子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していくことができるようとする教育が必要であると考えている。

そこで、本校では、生き方探究・キャリア教育をベースとし、子どもたちがよりよい道筋、すなわち自分に適した生き方をたどることができるように価値観を形成し、主体的に選択決定・実行する力を育成することを目指していかなくてはならないと考えている。そこで、学校教育目標を上記のように設定した

学びの広がりと深まりには以下2点が含まれる

広がり・・地域ぐるみの学校づくりとして、地域に学校が発信として広げていくコミュニティであること。その中で子どもたちが思考力・判断力・表現力を身につけ、豊かな人間性を育む。

深まり・・子どもたちが自分の考えを深めていくとは、様々な体験活動や問題解決のプロセスを通して、自分の考え方を比較し、共通点や類似点、相違点を伝達し話し合い、深める。さらに話し合ったことをもとに自分の考えを見直し、再構築する。

「めざす子ども像」として以下のように設定した。これは、単に自分が将来就きたい職業にこだわらず、「こんな人間になりたい」という生き方も含めた大きな希望（“夢”や“願い”）を抱き続け、その実現に向けて今何をするのかという長期的な展望をもつ。そして、ともに学ぶ力（チーム学習）・解決する力（理科・生活科）・自分

めざす子ども像  
心やさしく すこやかに 大きな希望を胸に抱く子  
「自ら学ぶ力」「自ら律する力」を高める

を高める力（道徳）・計画、実行する力（総合的な学習の時間）を中心に据え、協同・たくましさ・自立を身に付けることができる子を目指していきたい。

- |             |  |
|-------------|--|
| 心やさしく       | <ul style="list-style-type: none"><li>・心と力を合わせることに喜びを感じる子</li><li>・思いやりをもって接する子</li><li>・自己肯定感や自尊感情を育み、互いに認め合う子</li></ul>                  |
| すこやかに       | <ul style="list-style-type: none"><li>・進んで運動し、元気で活力のある子</li><li>・最後まで粘り強く取り組む子</li><li>・偏食せず丈夫な体をつくる子</li><li>・安全に対する意識を高く持ち続ける子</li></ul> |
| 大きな希望を胸に抱く子 | <ul style="list-style-type: none"><li>・主体的に学ぶ子</li></ul>   |

- |             |  |
|-------------|--|
| 大きな希望を胸に抱く子 | <ul style="list-style-type: none"><li>・豊かに感じ、思考・判断し表現できる子</li><li>・よりよい自己を創造できる子</li><li>・夢や願いを抱き、実現にむけて長期的な展望をもつ子</li></ul> |
|-------------|--|

## ＜洛央教育の5つの重点＞

### 1. キャリア発達を促す視点を全教育活動の根底において取り組む

本校では、生き方探究・キャリア教育をベースとし、子どもたちがよりよい道筋、すなわち自分に適した生き方をたどることができるように価値観を形成し、主体的に選択決定・実行する力を育成することを目指していくかなくてはならないと考えている。

そこで、以下のように設定し学校教育目標およびめざす子ども像に迫りたいと考えている。

#### \*課題対応能力 「解決する力」 理科・生活科・総合的な学習の時間

自己理解・自己管理能力	「自分で高める力」
人間関係形成・社会形成能力	「ともに学ぶ力」 チーム学習（のびのびタイム）
キャリアプランニング能力	「計画・実行する力」

◎総合的な学習の時間は4つの力をすべて単元構想の中に入れる。

### 2. チーム学習による創造的な学び合いを通して、実生活で生きて働く知を育成する

本校のチーム学習とは、自立した個々のメンバーが学習の目的や見通しを明確に共有し、試行錯誤したり、お互いに考えを練り上げたりしながら非定型な問題を解決していくような学習形態であると捉えている。本校では理科・生活科において、体験や体感を重視した自然事象との出会いから学習問題を設定し、試行錯誤しながら問題を解決していくようなチーム学習を目標としている。そのチーム学習を通して、多様な考え方からよりよいアイデアを創造する力や科学的に考え実践の場面で適切に判断できる能力（実践知）を獲得できるようにすることを研究の目標としている。またチーム学習を通して、子ども同士の関わり合いの中で培われる達成感、成就感、有用感を基盤とした自己効力感の育成を目指したい。

さらに、総合的な学習の時間においても課題対応能力「解決する力」の育成が重点となるが、単元構想の中には基礎的・汎用的能力の4つの力を意識した取組を入れ、相互に関連させながら本校の目指す子ども像に迫っていきたい。

### 3. 「豊かな心」を育む活動の推進

「豊かな心」を育む活動を推進し、人権文化の担い手となる子を育む。

すべての児童に系統的な人権教育の推進を通して、豊かな人権感覚を育て、実践的態度を培うための取組を推進する。本年度は、特に道徳の時間との関係を明らかにしながら、自分を高める力を身に付けさせたいと考えている。

### 4. 規律ある生活習慣・存在感や成就感を味わえる学級集団づくり・家庭学習への働きかけ

一人一人を認め、個々の個性が生かされる中で友だちも自分も大切にする学級・学校集団づくりを進める。規則は自分を守り、他を大切にするためにあることを自覚させ、規範意識の醸成を図りたい。問題の早期発見・早期対応を心掛け、校内で報告・相談するなど情報の集約と共有を徹底し迅速かつ組織的に指導を置く。

さらに、家庭学習への働きかけをすることで、より家庭と学校の関係づくりの定着を図るとともに、家庭での学習は家庭で責任をもってできるようにする。また、子どもたちが計画的に家庭学習をしたり、改善を図ったりできるようにする。

## 5. 地域ぐるみの学校づくり

「洛央いきいきコミュニティ」を核として学校・家庭・地域の連携を図り、地域の伝統的な文化や産業、あるいは人を教材化した体験的な学びの展開を大切にする。

上記のような学習を展開することで、地域に愛着を感じ、地域の次代を担う子どもを学校・家庭・地域の連携の下で育む。

本校では、学年に応じた地域学習の推進を図る。さらに、高学年になるにつれて様々な生き方について学ぶ機会をもつことで、今学校で学んでいることと、将来とのつながりについて考えたり、具体的な目標がもてたりすることを目指す。